

新規事業候補箇所の選定の考え方

国土交通省 東北地方整備局

新規事業候補箇所の選定の考え方 【一般国道（拡幅・バイパス）】

■直轄国道における対策未実施区間（新規事業候補区間）の抽出

1. 東北の直轄国道全線（約3,200km） 【1,652区間】
○令和3年度 全国道路・街路交通情勢調査区間毎に分割

2. 改築事業等実施中注) 以外の区間 【801区間】
注) 改築事業の実施中または改良区間及び直轄自専道区間、それらに並行する現道区間

3. 課題区間の抽出(以下の①～③のいずれかに該当) ※1 【540区間】

- ①交通課題 渋滞：主要渋滞箇所※2を有する区間 (147区間)
事故：事故危険区間※3を有する区間 (302区間)
- ②道路構造：急勾配、急カーブ、狭小幅員箇所の有無 (238区間)
- ③防災・災害：事前通行規制・災害発生・津波浸水区間 (136区間)

4. 具体的な対策方針が決定している区間 【19区間(5箇所)】

- ①交通課題 8区間
- ②道路構造 5区間
- ③防災・災害 0区間

5. 事業実施環境等の確認 【11区間(2箇所)】
○都市計画決定済みや環境影響評価実施済み等、事業実施環境が整った区間を選定

直轄国道におけるR7年度新規事業候補箇所

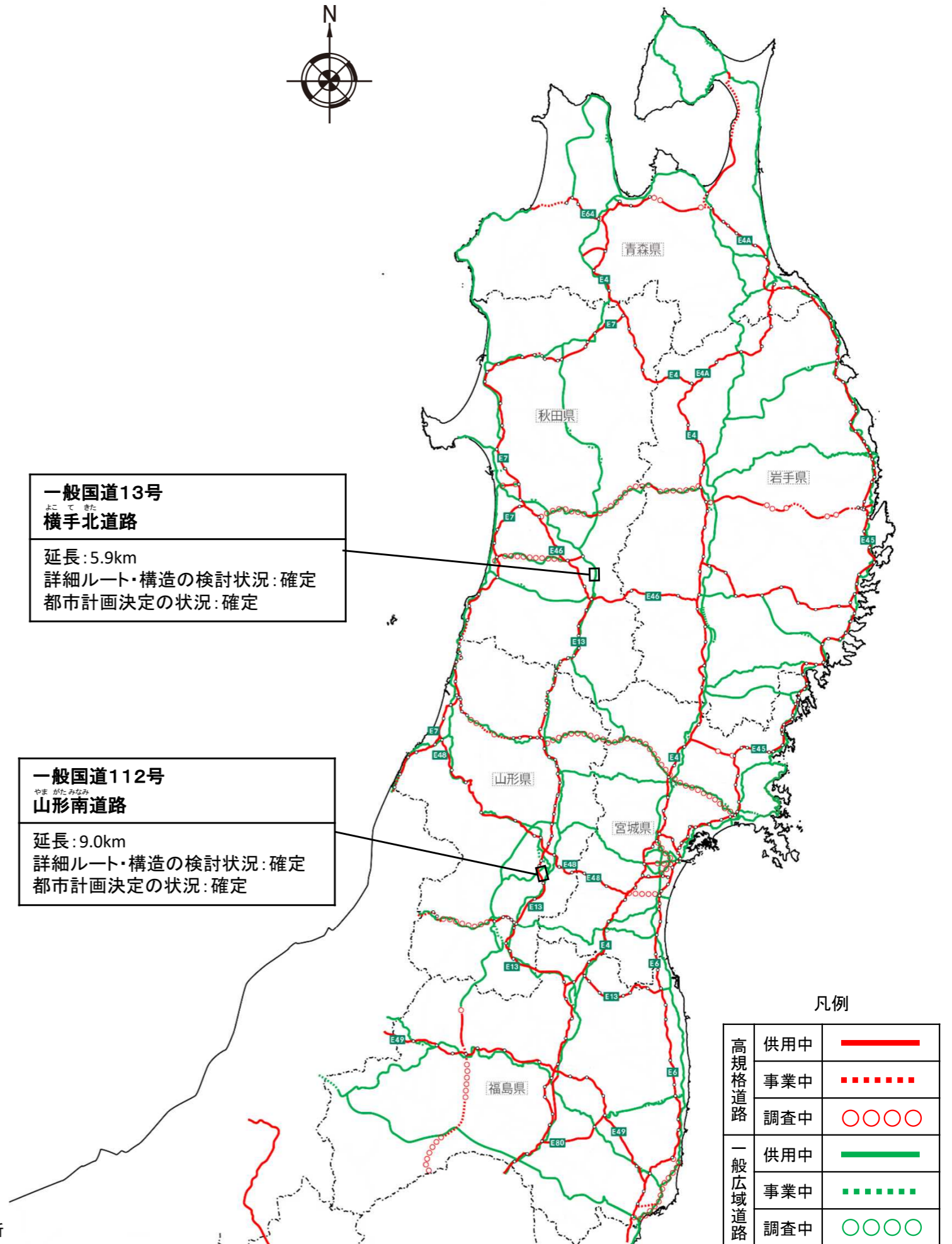
- 一般国道 13号 横手北道路（交通課題）
- 一般国道 112号 山形南道路（交通課題）

※1 課題区間の抽出の視点

課題	指標		判定	
①交通課題	渋滞	主要渋滞箇所を有する区間 ※2	主要渋滞箇所に該当 ※2	地域の委員会等で特定された箇所 (H25.1公表)
	事故	事故危険区間を有する区間 ※3	事故危険区間に該当 ※3	地域の委員会等で特定された区間
②道路構造	急勾配箇所 急カーブ箇所 狭小幅員箇所	道路構造令の規定値を満たさない箇所	I=5%超 R=150m未満 W=8.0m未満	道路構造令の規定
③防災・災害	事前通行規制区間	異常気象時で事前に通行が規制される区間	規制区間に該当	—
	災害発生区間 津波浸水区間	過去5年間に災害が発生し、全面通行止め又は片側交互通行止めを実施した区間 津波浸水区域を有する区間	発生区間に該当	—

※2 主要渋滞箇所：速度データ（プローブデータ）等や道路利用者等の意見を踏まえて、各県渋滞対策協議会で選定した箇所
※3 事故危険区間：事故データや地域の声を踏まえて、各県道路交通環境安全推進連絡会議等で選定した区間

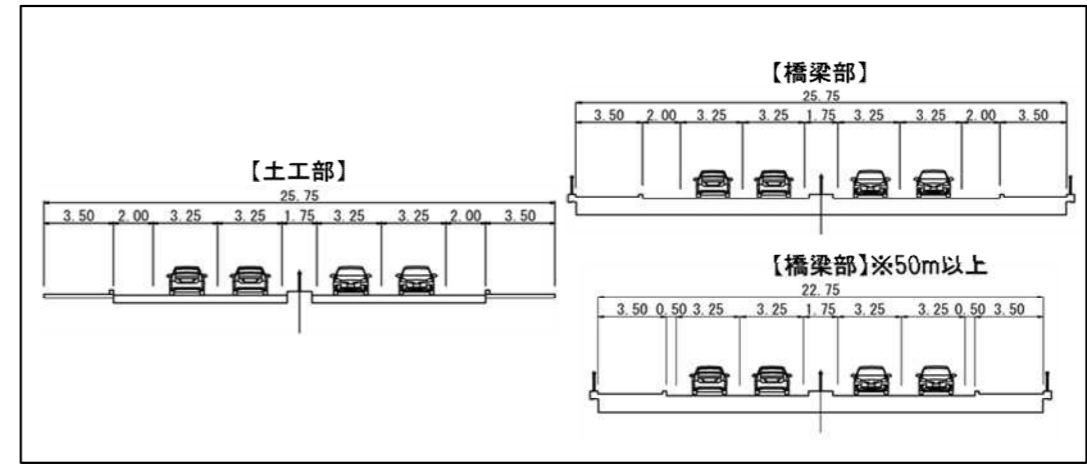
令和7年度 新規事業候補箇所



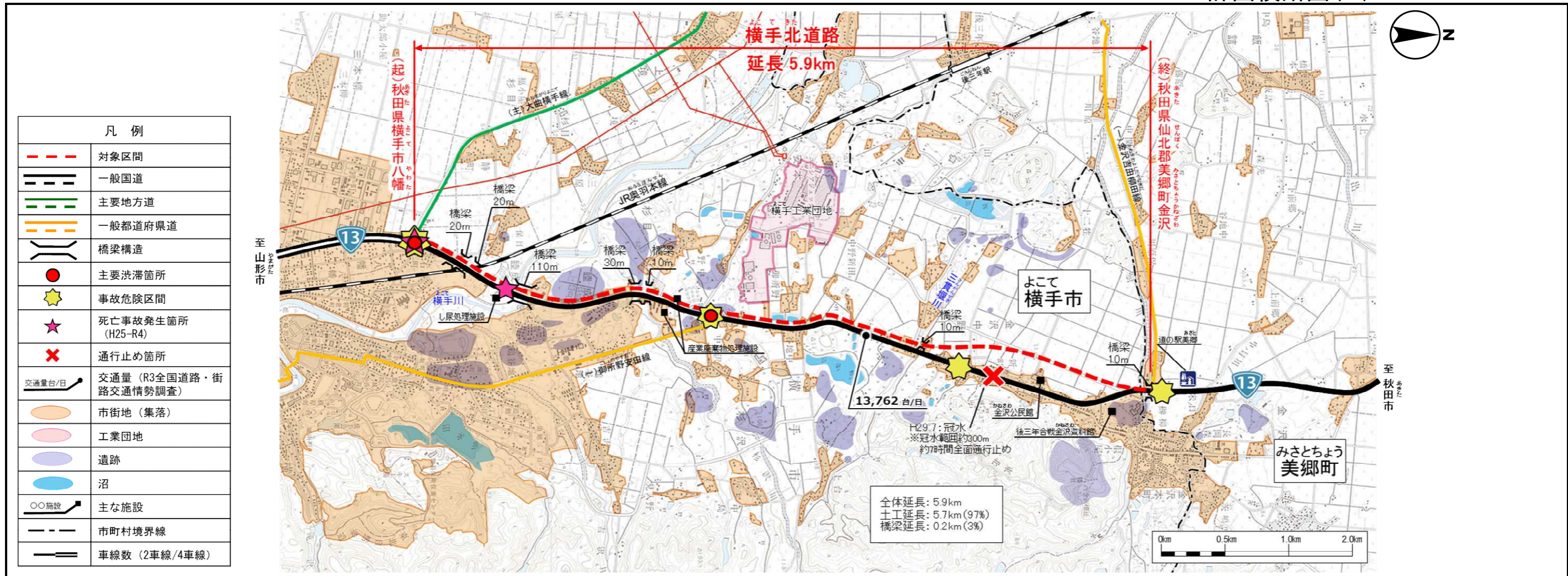
整備局名	都道府県名	事業名	事業延長	車線数	計画交通量	全体事業費	B/C	備考
東北	秋田県	一般国道13号 <small>よこてきた</small> 横手北道路	5.9km	4/4	18,500台/日	300億円	1.3	

■事業の経緯

- ・令和 2年10月 計画段階評価着手 (第1回)
- ・令和 4年11月 計画段階評価完了 (第3回)
- ・令和 5年12月 都市計画決定
- ・令和 6年 3月 東北地方小委員会 (新規事業採択時評価)



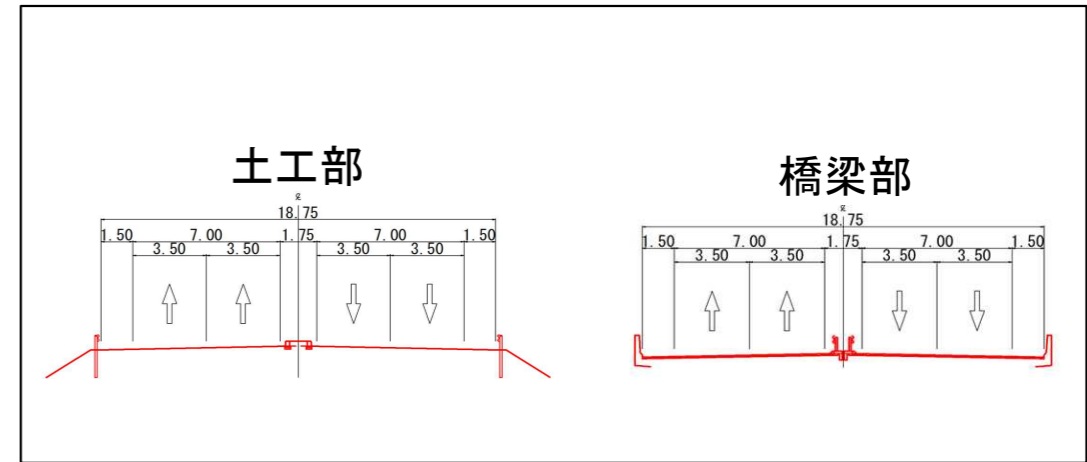
▲計画横断面図(m)



整備局名	都道府県名	事業名	事業延長	車線数	計画交通量	全体事業費	B/C	備考
東北	山形県	一般国道112号 <small>やまがたみなみ</small> 山形南道路	9.0km	4/4	30,700台/日	740億円	1.6	

■事業の経緯

- ・令和 3年 11月 計画段階評価着手 (第1回)
- ・令和 5年 11月 計画段階評価完了 (第3回)
- ・令和 7年 1月 都市計画決定
- ・令和 7年 3月 東北地方小委員会 (新規事業採択時評価)



▲計画横断面図(m)

